

香芝の風景

私のアングル

タウンウォッチャー 西川徳蔵(真美ヶ丘)



香芝市を西から東へ横断する国道一六五号線が近鉄五位堂駅近くを過ぎると、左手に別所の集落があります。その別所集落の東側を左折する香芝南廻り線のゆるやかな登り道を行くと、左にハス池の水面が広がり、右に緑豊かな城山児童公園が目に入ります。

絵の風景は、少し高台になっている香芝南廻り線の歩道から、ハス池に影を落とす白壁の美しい別所の集落と彼方に見える二上山を描いたものです。

香芝市内に点在する溜め池や井戸には伝説や言い伝えが数多く残っています。このハス池の由来は、池の蓮が當麻寺へ運ばれて、中將姫が當麻曼茶羅を織つたと伝えられているそうです。

現在のハス池には蓮の姿はなく、周りを樹々や集落の石垣に囲まれて、静まりかえています。

一見、中世の伝説が秘められた池とは思えない風景ですが、私は、このハス池と二上山の歴史を重ねて、古のこの辺りの光景に想いをめぐらし、しばし夕映えの池を眺めていることがあります。

夏、水草が茂り水面に映える白壁や雲を眺め、冬、水面に波紋を描いて泳ぐ野鳥の姿を追いかけるながら、四季折々私はこの辺りのウォーキングを楽しんでいます。

二上に

雷を聞きつつ

草を刈る

徳蔵